

## 005 Cacco

作品名	作家名	感想	評価
パレード	川上弘美 絵・ 吉富貴子 平凡社	「センセイの鞆」のセンセイと月子さんのある一日。ふたりでのんびり昼寝から醒めたときセンセイは月子さんに「昔話をしてください」と頼みます。月子さんは小学生時代に自分のそばにいたふたりの天狗について話します。 短い童話のような物語。面白かった。	☆☆☆★
四日間の奇蹟	朝倉卓弥 宝島社	第一回「このミステリーはすごい！」大賞受賞作。TICAさんから借りました。【脳に障害を負った少女とピアニストの道を閉ざされた青年が山奥の診療所で遭遇する不思議な出来事を最高の筆致で描く癒しと再生のファンタジー】が宣伝コピーです。少女と青年が事件に遭遇するまでがけっこう長い。魂の入れ替わりものなんだけど、死ぬにあたって入れ替わってまで伝えることのないわたしには、まあどっちでもいいかなってお話。突然親しい人を失った残された人々にとっては理想的状況だと思うけど、こういうのってなんだか狡くないかな。完全な脇役ですが主人公真理子さんの元旦那後藤さん一家がよかった。	☆☆☆
7 daysinBali セブンデイズ・ イン・バリ	田口ランディ 筑摩書房	「四日間の奇蹟」と同じ、ピアニストをめざしていた主人公マホが才能ある友人ミツコを探しバリ島を訪れた七日間の話。オドオド、ニューピ、サンヒャリ・ドゥダリ、魔術師、バリ島というのは神と繋がるエアポートらしい。バリ島での彼女の体験は病による妄想なのか現実なのか。彼女はひとつの答えをその体験から得ることになる。バリ島に一度行ってみたいとなった。	☆☆☆☆
光源	桐野夏生 文藝春秋	一本の映画を仕上げるというのは大変なことだっていうことはわかった。「ポートレート24」というなかば実話映画の製作にかかわった人々が各々実現に向け努力するが挫折する話。厚い割りに変化のない話。つまらなかった。タイトルの「光源」って光源氏を思い出す。	☆☆

